

授業科目名	バスケットボール			授業形態	実技		授業科目区分		専門科目 (関連実技科目)		
担当教員名	木葉 一総・三浦 健						補助担当者名				
単位数	1 単位			履修年次	1		受け入れ人数		40名程度		
授業の概要	・本授業は、ルール、ドリル、練習法について講義し、これらに基づきバスケットボール専攻学生がグループの中心となって実技指導を行う。 ・バスケットボールの基本技術とゲームの方法を学習する。 ・バスケットボールのドリルを通して、体の扱い方と時間空間の認知能力を高める。										
授業の到達目標 及び成績評価の 方法	授業の到達目標				成績評価の方法						
	D Pで 目指す 資質・ 能力	実技力、実技指導力、コミュニケーション力 ()	授業期間				定期 試験	その他	割合 %		
			授業	テスト	レポート	発表					
■ 認知的領域	・バスケットボールの基本技術について、概ね説明することができる。	○							20		
■ 情意的領域	・ドリルやゲームに主体的に取り組む。 ・ゲームにおいて、ルール・マナーを遵守し、安全を確保し、味方同士が助け合う。	○							30		
■ 技能的領域	・バスケットボールの基本技術をゆっくりなら示範ができる。	○				○			50		
成績評価の基準	出席回数が2/3以上でない者は、単位を認定しない。										
テキスト、教材 参 考 書											
履修条件・ 関連科目				備考(教員メッセージ含む)		・基本技術のドリルの中には、授業時間だけでは身に付きにくいものも含まれるので、授業前後に復習することを勧めます。					
オフィス・アワー	随時：総合体育館教員室										
授業計画											
回	担当教員名	授業内容					授業時間外の指導等 (予習、復習、レポート等課題の指示)				
1	木葉 一総 三浦 健	オリエンテーション。ボールハンドリングドリル。					実施した実技内容を復習する（15分）				
2	〃	Dynamic Stretch：動的柔軟性を高める。					実施した実技内容を復習する（15分）				
3	〃	ドリブルドリル：3種類のその場ドリブル、5種類のチェンジ。					実施した実技内容を復習する（15分）				
4	〃	2つのボールへの対処：5種類のドリブル、ボール2個の直上連続パス。					実施した実技内容を復習する（15分）				
5	〃	開放性スキルと閉鎖性スキル：観察・判断・選択が球技では鍵を握る。					実施した実技内容を復習する（15分）				
6	〃	ストップ＆ピボット：足さばき、目さばき、手さばき。 前向き前回り＆前向き後回り。					実施した実技内容を復習する（15分）				
7	〃	ストップ＆ピボット：足さばき、目さばき、手さばき。 後向き前回り＆後向き後回り。					実施した実技内容を復習する（15分）				
8	〃	シュートドリル：レイアップシュート、ストップシュート、フリースロー。					実施した実技内容を復習する（15分）				
9	〃	ゲーム前の練習法：スクエアパス。					実施した実技内容を復習する（15分）				
10	〃	ゲーム前の練習法：ドリブルシュート。					実施した実技内容を復習する（15分）				
11	〃	ゲーム前の練習法：ランニングシュート。					実施した実技内容を復習する（15分）				
12	〃	ボディコントロールを高めるドリル：ボールを体側で回して、足を通してレイアップシュート。					実施した実技内容を復習する（15分）				
13	〃	フリースローのグループドリル：ノックダウン。					実施した実技内容を復習する（15分）				
14	〃	ハーフコート 3on3					実施した実技内容を復習する（15分）				
15	〃	実技試験の為の練習。					実施した実技内容を復習する（15分～1時間）				
16	木葉 一総	実技試験									